

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	辰野町「寺子屋シアター」プロジェクト 2022
事業主体 (連絡先)	辰野町「寺子屋シアター」プロジェクト実行委員会 0266-41-3553 垣内彰
事業区分	(3) 教育、文化の振興 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,560,821 円 (うち支援金: 2,376,000 円)

事業内容

オリジナル演劇の創作プロセス」を活用した地域力の向上
・地域密着型の演劇創作で実績定評のある長野市の NPO 法人劇空間夢幻工房(主宰・劇作・演出: 青木由里氏)を招聘し、現在の辰野町の礎となった歴史上の人物や郷土の物語を題材にしたオリジナル演劇を地域住民と共に創作する。
・その上演と鑑賞を中心に置きながら、様々なワークショップを織り交ぜ、演劇創作プロセス全体に地域住民の参加を図る。



【公演シーン】

【目標・ねらい】

①自律的、持続的な行動・活動が、地域における活性化の基盤として形成されることを目的とする

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ④地域に根差した物語による誇り(辰野プライド)の醸成
ワークショップ等通じて樋口次郎兼光への理解が深まるとともに、故郷の歴史への関心を高めることが出来た
- ⑤地域に自立した文化発信拠点(みんなの寺子屋)の形成
川島の方、松本の義仲賛える会の皆さんが駐車場係、道案内等してくれました、
- ⑥プロセスへの参加を通じたコミュニティ結束力の強化
役者・スタッフ・家族で作るコミュニティが出来、次年度へ向けての取り組みを始めることが出来ました。

※自己評価 【 B 】

【理由】昨年度以上に、ワークショップ、公演観劇者には好評で、出演者、実行委員の結束は強く、次年度へ向けての意志も確認できたものの、昨年来の課題、地元住民、全町的な広がりはまだまだ限定的と思われる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当初より、3年計画で町内3箇所の寺社での公演と、その地域での文化的コミュニティの形成を目指していた。樋口、北大出、川島・・・とそれぞれの地域で継続的に地域・歴史・文化を発掘する人々の絆を作ることが理想であった。本年度も実行委員を中心としてそうしたコミュニティの形成を目指したものの、公演へ向けてのエネルギーを維持することで手一杯であった。持続可能な活動母体を育てるには、もっと時間が必要と思われる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある